



スミレ類 [堇]

5本の樹

夏緑 / 多年草 / 地被類等 / 草本植物 / 在来種



タチツボスミレ

科名 スミレ科 (APGⅢ)

特記 生長：普通

日の当たる庭隅で可憐な花を咲かせる。思いがけないところで健気に咲く姿に魅力がある。スミレというとタチツボスミレ、ノジスミレなどの総称名とスミレという種名を指す場合があり、後者は「本スミレ」と呼び区別される。春以降も花をつけるが、咲くことなく結実する。



タチツボスミレ花



ツボスミレ



ノジスミレ



ヒゴスミレ

Memo

種にはアリの好物のエライオソームが付いている。アリに運ばれた先で放置され、そこで芽を出す。

お手入れカレンダー	月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
	花 期			■ (品種により異なる)									
	果 実					■ (採種しない場合は花殻摘み)							
	紅 葉												
	施 肥	(不要)											
	剪 定											■	

好みの環境				
日当り	陽	○	○	陰
土 壤	乾		○	○ 湿
寒 さ	強	○		弱
暑 さ	強	○		弱
潮 風	強		○	弱

観賞ポイント	姿						
	花	○					
	葉						
	紅葉						
	黄葉						
	実						
	香						

ポイント

日当たりがよく水切れしなければ、やせ地でも花をつける。自然交配するため交雑種になりやすい。日が長くなると花の咲かない「閉鎖花」になる。長時間日が当たる環境では花期が短くなりやすい。

剪定

採種するのでなければ、花後の花殻を摘み取り、株の負担を減らすとよい。放任すれば、種は成熟すると弾けて周囲に飛び、そこで発芽する。アリに運ばれ、思わぬところで発芽することもよくある。

病虫害

病害は、そうか病、うどんこ病。虫害は、アブラムシ、ハダニ、ヨトウムシ、[ツマグロヒョウモン](#)などの害を受けることがある。

呼べる蝶



メスグロヒョウモン・[ツマグロヒョウモン](#)
オオウラギンスジヒョウモン
ミドリヒョウモン・ウラギンスジヒョウモン
クモガタヒョウモン・ウラギンヒョウモン
ギンボシヒョウモン・カラフトヒョウモン
ホソバヒョウモン・キチョウ
[モンシロチョウ](#)